



- 24/06/22 ~ 24/08/21
- 【b: 孔内間隙圧変化】
 - C0002: 7月17日頃から収縮変化した後、8月5日頃から膨張変化に転じて、8月13日頃に終息。
 - C0010: 8月5日頃から収縮変化 (その後の変化は検討中)
 - C0006: 8月4日頃から収縮変化となり、8月15日頃に終息。
 - C9038: 今の段階では有意な変化はない

【結論】:

- C0002 よりも深部側から始まった間隙圧の収縮変化は、C0010, C0006 と海溝側に伝播し、現在は終息した。
- 8月8日の日向灘地震を挟んで間隙圧変化が生じたが、直接的な影響は特にみられなかった。
- 【間隙圧変化の駆動源】: C0002 より深部側から始まり、浅部側に伝播したものの、C0010 よりも手前で止まった可能性
- 【過去の事例】: C0002が収縮変化した事例は 2012年、2014年にもみられた。これらも駆動源が深部側で生じたと考えられている。

- (c) 体積歪計: DONET-1保守作業前に電源を落としたため、再稼働後に初期ドリフトが発生
- (d) 地震活動: (a)の長方形枠内で発生した通常地震(○)と低周波微動(○)の震央分布を海溝軸からの距離の時系列として表示。

